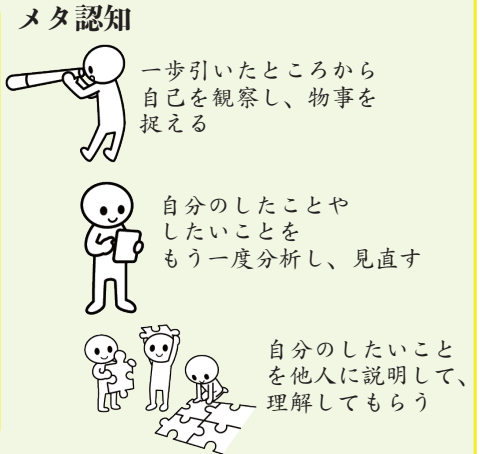
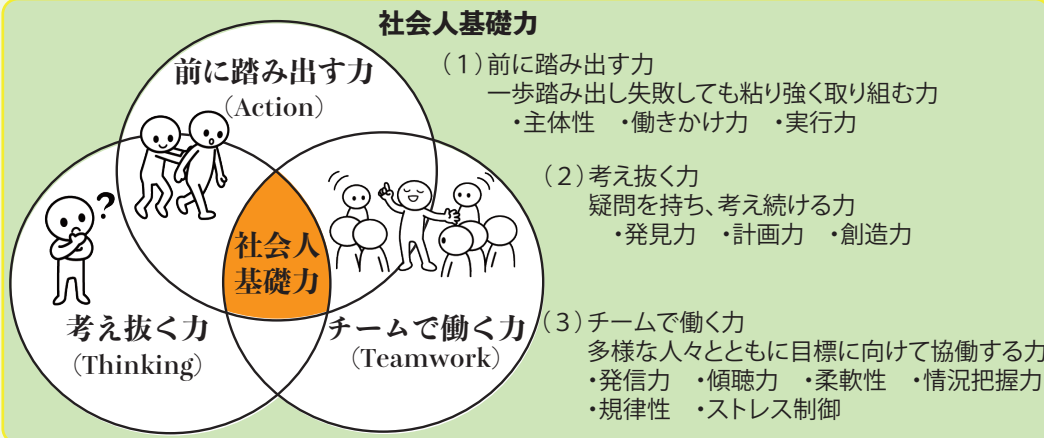


これからの時代に向けての学力～社会人基礎力と3つの能力～

○多様な人々との協働による問題解決活動とチームワーク ○新しい価値の創出、アイデア収集、実現のためのトライ&エラー



ある問題に対して、周りの人たちと協力しながら、解決するためのアイデアを募り、考え、様々なことを試みながら新しいことをやり遂げる能力のことを「社会人基礎力」といいます。

みかんせいでは、子ども達が夢中になってやれる「**本当にしたい何か**」を、子ども達自身で見つけられる学力、自分で行動し目標を達成できる学力、つまり「**自分で自分の将来を育てる**」学力を育成する学習をしています。

3つの力を伸ばすみかんせい式学習プロセス

前に踏み出す力

を伸ばすプロセス

- 主体性**：学習項目や目標を考え、自分で行動を決め、みかん日誌を書く
- 働きかけ力**：学習したものを自ら先生に説明し、相互理解を深める
- 実行力**：自分で決めたスモールステップの目標を諦めずにやり抜く

考え抜く力

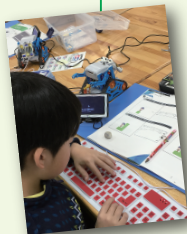
を伸ばすプロセス

- 発見力**：ノートまとめ・テキスト学習から多角的な視点から見る力を養う
- 計画力**：みかん日誌に1日～2ヶ月の実行可能な学習計画&目標を立てる
- 創造力**：国語要約・算数文章題・プログラミング学習を通じてイメージを形にする能力を発展させる

チームで働く力

を伸ばすプロセス

- 発信力**：自分の学習を自分の言葉で説明し考えたことを人に伝える力を養う
- 傾聴力**：先生や仲間の話を丁寧に聞き、理解に努め、質問能力も高める
- 柔軟性**：新しい視点を得て、否定ではなく肯定から考える心のゆとりを持つ
- 状況把握力**：教科書や問題文を読み、何を伝えているのか読み解く力を養う
- 規律性**：ルールを守り、自分に集中する
- ストレス制御**：できないことがあっても、腐らず、喚かず、諦めずに原因を究明する能力を養う



みかんせい式学習プロセスを伸ばす学力の3大要素

学習理解

- 問題が解ける
- 授業が分かる
- 成績が上がる
- やる気が出る
- 笑顔が増える

知識・技能を伸ばす

問題集・ワーク・過去問など定着問題を行い、テスト対応の実践力をつける。まとめノートを見直して、再度知識をインプットし、自分の弱点や覚えるべきポイントを学び直す。メモリーツリーと定着問題でアウトプットしていく。

学習能力

- 読解力
- 想像力
- 説明言語力
- 論理思考力
- 空間把握力
- 分析力
- 作文力

思考力・判断力・表現力・行動力を伸ばす

国語要約・ストーリー作り・算数文章題・テキストノートまとめ等、自分の力を育成する学習をする。大人になっても学べる学習技術と学習基礎能力を自分自身で養う。働くときに自分を助けてくれる土台となる力を向上させる。

人格

- 素直さ
- 謙虚さ
- 目標を叶えるために行動する意思の強さ
- 夢を目標に変え、自らを省みる勇氣
- 自分と他人への優しさ
- 自分と他人への厳しさ

個性をつくる人間性・心の表現する行動・学びに向かう自律心を養う

自分という人間を「自分の理想の自分」にする原石を大きくし、磨く。学校の勉強だけでは測れない力が子ども達にはある。しかし、自ら考え自ら学び、自ら動かなければ、個々の中にある力は発揮されない。だから、精進努力を怠らず、目標や夢の実現のため、日々小さなことを積み重ね、本気で精一杯行動する自分を磨いていく。みかん日誌を利用して、日々の行動を律し、成長を実感し、時に反省しながらも自己を肯定するよう、良い習慣と教養を身につけていく。

人格の伴わない学習は、点数だけの評価に執着し、何の面白みのない、自分を歪める勉強になってしまう。学びは自分をよりよく活かすためにする人間の最高活動で、自分と他人を結ぶ知的なコミュニケーションです。